

GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580
ガバナー月信

12

DECEMBER 2019 Vol.6

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212
E-mail: office@rid2580.org URL: https://www.rid2580.org/



12月は、疾病予防と治療月間です

国際ロータリー第2580地区

2019-20年度ガバナー

新本 博司

今年例年より早い時期からインフルエンザが流行り始めましたが、皆様元気に奉仕活動に勤しんでいらっしゃいますでしょうか。10月24日には、世界ポリオデーもありました。皆さんのクラブでも、ポリオ根絶のために何ができるか、考えていただくと良いと思います。12月が終わると、私のガバナー任期も半分が終わります。公式訪問が12月中にはほぼ終わり、2月には地区大会があります。それぞれの分区で、IMも行われています。今年度は、公共イメージ向上、奉仕の実践、青少年奉仕活動の強化を重点項目として取り上げ、研修を繰り返して参りました。皆さんのクラブでも、引き続き、目標に向かって行動してください。よろしく願いいたします。

10月からはガバナー補佐エレクト連絡会が始まりました。もう次年度の準備が始まっています。1月には野生司義光ガバナーエレクトが国際協議会(1月19～25日・サンディエゴ)に出席し、ホルガー・クナークRI会長エレクトから2020-21年度の年次目標を聞いてこられ、当地区にて3月4日に次年度地区チーム研修セミナー、3月17日にPETS、4月21日に地区研修協議会を行う予定です。

緒方貞子さんのこと

10月22日に、元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏



10月30日 東京練馬西RC公式訪問にて

が死去されました。テレビや新聞でも色々取り上げられましたが、皆さんも緒方さんがロータリー奨学生であったこと、ロータリーの影響を色濃く受けていたことをご存知だと思います。2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞の受賞者にも選ばれています。

ロータリー学友世界奉仕賞に緒方貞子氏

(記事: Sallyann Price

<https://www.rotary.org/ja/japanese-diplomat-earns-rotary-alumni-award>)から一部をご紹介します。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。「『超私の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」

「私たちは急速に変化する世界に生きています。世

界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています」(出展:同上)という言葉は、正にマローニーRI会長がおっしゃっていることと同じではないでしょうか。

在京・地区社会奉仕全体会議のご報告

10月30日の東京練馬西RC・東京練馬中央RC公式訪問を終えた後、在京・地区社会奉仕全体会議(銀座フェニックスプラザ)に出席いたしました。各クラブの社会奉仕委員長など約50名にお集まりいただきました。テーマは各地域の課題・ニーズを知り、各クラブの社会奉仕活動の活性化に役立てていただくことです。このために、地区社会奉仕委員にて、東京北部にある社会福祉協議会にヒアリングを行いました。

社会福祉協議会は、高齢者・障がい者・生活困窮者など社会福祉の課題の解決や福祉サービス向上などを目的として幅広い活動を行っています。今回のヒアリングで見えてきた地域の課題・ニーズは、地域における「孤立」です。高齢者の一人暮らしだけでなく、子ども、子育てをする親、生活困窮する若者、50代のひきこもりまで広がっています。また、市区町村ごと、さらにその中の地域ごとに課題・ニーズが異なることもわかりました。これらの点を、分区ごとに地区社会奉仕委員から報告をするとともに、東京都社会福祉協議会、豊島区民社会福祉協議会の職員からも講演をいただきました。社会福祉協議会の概要と地域共生社会づくりに向けての取組み、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の概要と地域住民・地元企業・社会福祉協議会職員などが連携した現場での具体的な取組みについてお聞きし、意義ある情報を委員会から各クラブに発信出来たのではないのでしょうか。

私は那覇市社協の会長も務めています。社協は困った人の最後の砦です。猶予のない状況の人の相談に乗り、対応をしています。本年度当地区のターゲットは「奉仕の実践/平和で明るい未来」としました。各クラブで何をするか、地域で何をするかを考えて、実践していただきたいです。もちろんできる範囲です。

このことは、超我の奉仕につながります。クラブがさらに輝くことにつながります。ロータリークラブだからこそできることを行い、ロータリークラブを社会的意義あるものとしましょう。



ガバナー公式訪問の記録(10月16日~30日分)

ガバナー公式訪問の主な目的は、会員の意欲を高め、支援を提供することです。適切なアドバイスをするために、現在のクラブ活動の具体的な事例を示して欲しいと皆様にはお伝えしております。地区リーダーの第一の役割は、クラブをサポートすることであり、奉仕プロジェクトへの参加意欲を喚起したり、入会者にとって魅力があり、現会員が満足できるような活気あるクラブをつくるために、柔軟なクラブ運営や新しい試みを取り入れることを奨励したりすることが期待されています。

ロータリーの中核的価値観は① 奉仕 ② 親睦 ③ 多様性 ④ 高潔性 ⑤ リーダーシップですが、そのうち何れが欠けてもロータリーの精神が発揮できません。マローニーRI会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。そのためにロータリアン各々が何を成し得るか、具体的にどのような行動をするかが重要です。相手の幸せが自己の幸せにつながり、そのためには家族、職場、地域が幸せになることが必要で、究極的に世界の人々の幸せにつながります。多くのクラブで増強の話題が出ましたが、会員の減少を阻止するためには、改めてロータリーの存在価値を見つめ直す必要があると考えます。

沖縄で開催される地区大会やハワイで開催される国際大会にも、多数の会員の参加を望みます。

10月16日に**東京王子RC**を訪問いたしました。来年60周年を迎える歴史と伝統のあるクラブに初めて訪問することができ、うれしく思い、期待して行きました。私が那覇RCの会長時代にガバナーでいらした浅川PGには、様々な場面でお世話になり感謝しております。東京王子RCは、ベテランの会員と若手の会員とのコミュニケーションがよく取れていて、クラブの雰囲気も「居心地のいいクラブ」とお聞きしました。ただ、年齢構成をみると40代までの会員が少ないようです。日本のロータリークラブは、昔からの厳格な運営を守っているクラブが殆どだと思います。最近のアメリカでは、「ロータリーを楽しむ」ということを重視しています。家庭や地域社会とのつながりを大切に、ロータリーを楽しんでいます。その辺に日本のロータリーがシフトしきれていないので、若い世代との交流の場が少なく、若手が入ってきにくい環境にあるのではないのでしょうか。家族や地域社会とのつながりを大切にするという流れに合致できる体制を整えていく必要があります。それができていけば若い人や女性会員が入りやすくなり、更に楽しいロータリーとなっていくのではないかと思います。

10月17日には、東京田無RCと東京保谷RCの合同例会を訪問しました。**東京田無RC**の今年度の会長方針は、『開KAI』心を開くと、きっといいことが!→つながる→みんなの幸せ→平和で明るい未来、ということでした。宮城県女川町訪問と11回目を数える西東京市児童版画作品展の二つを軸に、1年を通して活発に

活動をする計画を伺いました。東京田無けやきRCからの引継ぎ活動として、女川町長・教育長と懇談し、復興住宅を訪問したり、多賀城高校・貞山高校でロータリー希望の風奨学金の紹介をしたり、仙台市立荒浜小学校(震災遺構)を訪問なさったお話も聞きました。

東京保谷RCの本年度の会長方針は、親睦・会員増強・奉仕活動・研修です。会員数が現在17名と減少傾向にあるので、増強が一番重要とお考えでした。5年後の50周年に向かってプロジェクトを立ち上げてクラブを活気づけたいと、本年度は、韓国の留学生に日本文化を知ってもらうためのプロジェクトを計画していらっしゃいます。

10月18日は、**東京板橋セントラルRC**を訪問しました。外部に対してロータリーの奉仕活動についての発信、クラブとして長期的な奉仕活動を模索したいと聞きました。

35歳の若い方が入会し、今後も会員増強を図りたいとのことで、期待しております。マローニー会長のスピーチで、近い将来に国際ロータリー会長職も女性会員の就任が予測されているとありましたが、当クラブは会長、幹事が女性です。クラブの奉仕活動としては、板橋区子ども施設の白熱電球から電球型蛍光灯/LEDへの取替え事業、児童養護施設まつば園へミンシンの寄贈(地区補助金活用)、日本語能力にハンディキャップのある外国人の子どもを対象とする日本語教室への日本語学習教材の寄贈(地区補助金活用)、気仙沼と当地区のローターアクト有志による気仙沼仕事創出プロジェクト支援を行っており、青少年に活躍の機会を提供しています。

10月28日には**東京池袋西RC**を訪問いたしました。HPやSNSを利用した広報活動や、会員候補者リストを作成しオープン例会等に招待するなどの工夫をされていました。若い会員候補者として法人会青年部等への勧誘を考えたものの、豊島区は他団体が強く食い込めない、という意見をお聞きしました。他団体との違いを分析し、その上でロータリーの奉仕活動の情報をアピールしていただきたいとお願いしました。東京池袋西RCは全体的にまとまりのある活動をされており、その中で平和と職業奉仕はロータリーの



根幹となります。家族、クラブ、会社のあり方を真剣に考えることがロータリーのあり方につながる、私は信じております。マローニー会長は、ロータリーの礎は「つながり」と提唱されており、「つながる」ことが今日の分断社会を正すこととなります。そして、ロータリーのあり方を考えることで、他の団体との違いが見えてくると思います。

10月29日の**東京足立RC**では、沖縄の音楽が流れ、泡盛で煮込んだ肉料理までご用意いただき、感謝しております。クラブ協議会では、現状をしっかりと分析されたすばらしい報告をいただき、課題とその原因を把握され、クラブの進むべき目標が明確になっていると感じました。当クラブは親睦に力を入れていて、会員同士のコミュニケーションもよく取れていると思います。年齢の高い会員と若い会員との差が大きく、中間の年齢層が少ないということは、どこのクラブでも似ていると思いますが、当クラブには25歳で入会したメンバーがいて、80歳代の会員もいる。こういったところは、このクラブのいいところではないでしょうか。若手が入会して、活動してくれるというのは、ロータリー本来の姿であると思います。超我の奉仕を考えるときに、自分の行い（職業）が、地域の人にどのように役立っているかを意識して、ロータリー活動を進めていってほしいと思います。今やっていること、素晴らしいことを継続していくことが、次世代につなげていくことになり、より強いクラブになっていくと思います。



10月30日には、東京練馬西RCと東京練馬中央RCを訪問しました。**東京練馬西RC**は、今年度のクラブ運営方針を「奉仕の実践で充実したロータリーライ

フを」にされました。中央分区ではトップの出席率を誇り、真面目でつながりが強いクラブです。戸田PGの指導もあり、皆で委員会活動を考え、会員増強につなげていく姿勢を見ました。35周年記念イベントとして夏休みに地元練馬の子供を集めて行った自然教室が大成功を収めたので、毎年続けることにしたそうです。会長の「ロータリーは人を育ててくれるもの」「ロータリーに出会ったことを感謝している」という認識が、クラブで共通認識とされ、増強や地域へのアピールにつながるように望みます。



東京練馬中央RCは、持続可能なクラブ運営のための中期ビジョンの策定として、「参加」「繋がり」「広がり」の三つのキーワードを提示されました。今年度から委員会形式を変更し、会員選考を増強委員会に併合、出席委員会を廃止（幹事報告に代える）し、公共イメージ委員会、奉仕プロジェクト委員会、クラブ管理運営委員会の三つを新設されたそうです。他にも、地区補助金を申請するために、会長デジグネット制度を採り入れることを模索されるなど、試行錯誤されていることが窺えました。10年以上続くシューズバンクプロジェクトや伝統芸能保存の和楽器寄贈の奉仕活動のお話もお聞き出来ました。公共イメージについても、ホームページ刷新やFacebookの活用などを始めてくださっています。FM放送なども活用されて、更に地域との繋がりを深めてください。クラブ運営方針として掲げている「ロータリアンでいよう!」の中に、「親睦と奉仕を通じ、体験して初めて真のロータリアンへの道が開けます」と書いてくださったことに、感銘を受けました。

インターシティミーティング(IM)の報告

10月22日に沖縄分区IM(ホスト:宮古島RC)、31日に多摩分区IM(ホスト:東京秋川RC)、11月8日に武蔵野分区IM(ホスト:東京保谷RC)が開催され、私も出席いたしました。

私の地元の沖縄分区のIMについて、少しだけご紹介します。テーマは「地域社会におけるロータリー活動」でした。多くの参加者があり、その数は180名に上りました(前回108名)。宮古島は現在、沖縄県内でも特に観光を中心に経済がかつてないほど活況です。

本会議では「各クラブによる地域におけるロータ

リー活動の現況報告」と題して、沖縄分区の11クラブが創立順に発表を行いました。それぞれのクラブの原点、歴史、これまでの活動を振り返り、親睦と奉仕によって地域社会と連携し行っている事業の報告をしてくださいました。内容も発表の方法も発表者も各クラブの個性によって異なりましたが、とても素晴らしかったと思います。11クラブの素晴らしい発表がロータリーを変え、地域を変革していくと信じております。懇親会では、沖縄の泡盛や地元のジュニアオーケストラ、太鼓の演舞で参加者は親睦を深めました。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 3回 大角 泰生 (東京リバーサイド)
1回 石川 和男 (東京リバーサイド) 笠島 伸介 (東京リバーサイド)

ポール・ハリス・フェロー

松田 賢基 (浦添)

米山功労者・メジャードナー

- 34回 関家 憲一 (東京)
24回 伊野波盛求 (那覇西)
22回 田邊 恵三 (東京お茶の水)
17回 杉浦 正和 (東京)
16回 坂下 博康 (東京北) 若宮 正英 (東京王子)
13回 松坂 順一 (東京葛飾東)
12回 須藤 仁 (東京麹町) 芝 久雄 (東京江北)
瀬間 義信 (東京葛飾)
11回 竹中 康一 (東京) 宮代 昌三 (東京池袋)
小澤 秀瑛 (東京青梅)
10回 林 克昌 (東京) 八木 敏廣 (東京新宿)
鈴木 義雄 (東京東江戸川)

米山功労者・マルチプル

- 7回 小池 孝 (東京) 宮部 一弘 (東京池袋)
北島 茂 (東京青梅)
6回 田名 毅 (那覇東)

- 5回 出光 昭 (東京) 石井 幸雄 (東京板橋)
井上 義勝 (東京葛飾東)
4回 伊部 幸顕 (東京) 澤田 廣 (東京板橋)
伊藤 正治 (東京葛飾東) 小峰 博昭 (東京青梅)
3回 五十嵐素一 (東京) Dyck Richard (東京)
田中 英利 (東京浅草) 新藤 伸人 (東京浅草)
関口 眞司 (東京江戸川) 小泉 輝雄 (東京葛飾)
小幡 雅二 (東京ベイ) 石山 敬 (東京東村山)
2回 馬城 文雄 (東京) 田邊 昌徳 (東京)
本田 忠盛 (東京) 北岡 修一 (東京新都心)
伊豆 隆義 (東京新都心) 太田 晴範 (東京浅草)
岩崎 隆 (東京浅草) 園部 経夫 (東京上野)
廣田 徳子 (東京臨海東) 加藤千代子 (東京臨海東)
栗山 義広 (東京臨海西) 大原 博 (那覇西)

米山功労者

- 深山 雅也 (東京新都心) 植崎 茂 (東京浅草)
森 健輔 (東京浅草) 坂野 文雄 (東京板橋)
山下総一郎 (東京板橋) 中島 実佳 (東京上野)
富沢みよ子 (東京板橋セントラル) 野崎 信 (東京江戸川)
望月 友二 (東京葛飾) 芳野 隆宣 (東京青梅)
倉内 淳 (東京武蔵村山)

10月31日分まで 敬称略、順不同

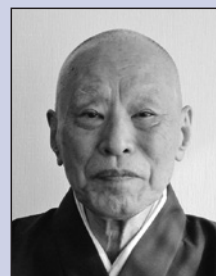
編集者:遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属

会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数 (内女性)	2,990名 202名
2019年10月末日正会員数 (内女性)	3,062名 213名
会員増減数	72名
入会者数	98名
退会者数	26名

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

[哀悼] 謹んで哀悼の意を表します



東京小石川ロータリークラブ

岡本 永司(おかもと えいし)会員

逝去日 2019年10月28日 享年92

入会日 1981年7月17日

真言宗豊山派大本山護国寺 貫首(住職)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者マルチプル